

パブリックコメントの意見の概要及び意見に対する考え方

パブリックコメント募集期間：令和7年1月10日(金)から令和7年1月24日(金)まで

ご意見数：9件（6人）

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>6ページの「連携の推進」について、一関、平泉、登米、栗原の枠組みとは別に、一関市と奥州市、金ケ崎町、北上市といった別な連携の組み合わせも作ってほしい。</p> <p>通勤、通学、買い物、通院している市民も多い。</p>	<p>提案いただいたような計画の具体的な内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>
2	<p>4ページの「いちのせきで「はたらく）」について</p> <p>誘致企業の撤退が相次ぎ、半導体、自動車産業工場が集積している奥州市、金ケ崎町、北上市に通勤している人が増えている。働く場所は一関市にこだわらず、「県南広域地域で」「一関市周辺で」にした方がいいと思う。宮城県北や岩手県中部に半導体や自動車工場が集まり、その中間地域に一関市があるのに、企業誘致や企業サポートがうまくできていないように感じる。</p> <p>また、道の駅などの施設や公衆トイレを県道一関北上線14号、国道456号などに、奥州市と一緒に整備してほしい。</p>	<p>提案いただいたような具体的な計画の内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>

パブリックコメントの意見の概要及び意見に対する考え方

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
3	<p>以下の点、文章の表現内容の確認と見直しをお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 4行目：市民や企業などにあっては 自主的→主体的 な活動の指針とする 第1節2行目：まちづくりを 進め→目指し ます。 第1節4行目：いきることは一人ひとり異なり、なりたい自分も一人ひとり異なります。→「ひと」がいきることは、一人ひとりのなりたい自分に向かうこととなります。 第1節8行目：「ひとづくり」を 目指し→進め ます。 第1節10行目：ひとが暮らす場が「まち」であり、ひとがつどい「まち」になります。 <p>→「ひと」が暮らす場に、「ひと」が集い「まち」になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節14行目：「まちづくり」を 目指し→進め ます。 第1節16行目：ひとがまちで生き、暮らすことで、「しごと」が生まれます。 <p>→「ひと」が暮らすために、「しごと」が生まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節20行目：「しごとづくり」を 目指し→進め ます。 第2節8行目：一人ひとり→「ひと」 が輝くことで 第2節15行目：「しごと」を通じて「ひと」と→「ひと」は「しごと」を通じて 第2節16行目：「ひと」が「しごと」の価値を高めます。…削除する 第2節17行目：輝く「まち」に集まる「ひと」は→輝く「まち」に「ひと」が集まり 第4章 1行目：将来像のために、…まちづくりを進めます。→一関市協働推進計画に定める協働の取組みを、次のような考え方と役割でまちづくりを進めます。 第4章3行目：一関市の協働のまちづくりは、…協力して取り組むものです。…2行を削除する 	<p>ご意見いただいた箇所について、基本構想(案)における表現が適切であるか、修正したことにより考え方が大きく変わらないか、などの確認を行います。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 将来像について、「挑戦しつづけるまち」とあるが、「まち」が挑戦するのか、「ひと」ではないのかと、ほんの少し違和感を覚えた。 第3章 第1節3つの基本目標について、全て働く世代向けに見える。基本構想としては具体的過ぎるかもしれないが、子育てや学生支援に言及してはどうか。 第4章 (1) 協働のまちづくりについて、「市民、地域協働体、企業などは、まちづくりの当事者として地域のことを考え」とあるが、当事者意識や協働の意識を育てることはかなり大変だと思う。頑張ってください。 	<p>将来像の「挑戦しつづけるまち」は、「ひと」の挑戦のほか「まち」としての挑戦も含むものです。</p> <p>提案いただいたような計画の具体的な内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画(計画期間：令和8年度から12年度)」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>

パブリックコメントの意見の概要及び意見に対する考え方

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
5	<p>6ページに魅力の発信で行政は選ばれるまちとなるためとあるが、一関市のイメージがどんどん悪くなっている。</p> <p>官製談合防止法違反と公契約関係競売入札妨害の罪や職員飲酒運転逮捕、白い農地問題、一般ごみの最終処分場問題と、マイナスイメージが多くなっていて若者に定住につながっていないと思う。また、一関市内のイベント、全国もちサミット、TGC、バルーンフェスティバル、地ビールまつりで経済効果〇〇億と新聞でよく見るが、平日の商店街の人通りや山間地域の状況に影響を及ぼしているようには思えない。暮らしやすさや住民の困っていることに税金を使ってほしい。</p>	<p>計画の具体的な内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>
6	<p>第4章 まちづくりの考え方と役割 ○魅力の発信</p> <p>「行政は、選ばれるまちとなるため、一関市の価値を高めるための取組を総合的かつ多角的に行うほか、」について、記載の趣旨は「価値を可視化し認識してもらおう」というものと思われるが、「魅力をプラスする」「魅力が増えるよう上乘せする」の意味で捉えられるおそれがある。意図が的確に伝わるよう、表現を見直してはどうか。</p>	<p>意図が的確に伝わるよう、表現を見直します。</p>
7	<p>具体的な論理になっておらず、綺麗事だけの言葉が並び、腹落ちしないカッコいいだけの計画と感じた。</p> <p>1) 前提条件について</p> <p>日本や世界を見て他との年齢別の増減経過を他と比較した具体的なデータ、一関市の特異性の具体的なデータなどが無い。具体性が無く、絵空事な計画と感じる。</p> <p>2) 計画内容について</p> <p>市民の目線からは 市役所は何してくれるの？です。市役所は税金を対価としたサービス業であるはずだが、未だに御上の体質を感じる。</p> <p>上記の他市との比較で、人口増の市町村はどうして増加したのか。メーカー目線言えば、お客様（市民）はコンペチター（他の市町村）と比較して商品（一関に住む）を選ぶ。メーカーのロードマップでも社員（市民）は腹落ちする内容で選ぶ。例えば協働のまちづくりについて市職員、市民、会社のメリットは？ 他人事な内容で、金銭的な手当や控除などの具体的な内容が見えない。</p>	<p>前提条件である人口データは総合計画と一体的に策定を進めている一関市人口ビジョンにおいて示す予定です。</p> <p>また、計画の具体的な内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>

パブリックコメントの意見の概要及び意見に対する考え方

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
8	<p>4 ページ目「いちのせきで「くらす」・「つどう」」について 現在は合併旧市町村、コンビニやドラックストアやスマホのネットショッピングで一関商店街に車で行って有料の駐車場に行かなくてもいい時代となってしまった。もっと民間の力を借りて商店街の活性化してほしい。</p> <p>4 ページ目「いちのせきで「はたらく」」について 地元ではなく新幹線を活用していろいろな職種に就職できる一関市としてほしい。</p> <p>新しく企業を誘致するには時間がかかるので、地元に残りながら都会に多い職種に憧れる若者に新幹線通勤代を補助してほしい。</p> <p>栗原市が若者遠距離通勤支援事業(新幹線、高速バス)で若者世代の移住・定住を促進するため、遠距離通勤の補助金を出しているようである。一関市内から盛岡、仙台の都市部に通勤や大学専門学校への進学をして、住まいは地元一関とし、休日にのんびりする環境ができるよう、補助金導入で消滅可能性自治体から脱却し、様々な働き方ができる一関市にしてもらいたい。</p>	<p>提案いただいたような計画の具体的な内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>
9	<p>1 一関の将来像について 広大な面積に対して人口がどんどん減っていく状況において、生活と仕事の分離を提案する。サラリーマンは既にやっていることだが、農家にもそれを適用していく。</p> <p>例えば大東町の場合、浜民を食う寝る遊びの中心として、農家はそこから田圃や畑、果樹園に出勤する形にしてはどうか。酪農家などは難しいと思うが、農地の集約、インフラの充実等を考えるとその様にしないと財政的にたち行かなくなるのではないか。</p> <p>2 それを実現するためには 家の当主が施設への入所や他界によりいなくなった際に、その家の者が帰ってくるか、家や土地の管理をしてくればよいが、そういった家は少ない。</p> <p>また、ある家庭は当主が亡くなり他の町に嫁いだ娘（70歳）が固定資産税などを支払っている。これはこの地域では、土地建物が行政の固定資産税の基本設定価格より安すぎて売れないという、ある意味行政による苛めのようなものである。</p> <p>そこで後を継ぐ意志の無い事を確認し、市がその土地や建物を買って（又は徴収）必要な時にすぐ地目等を変更し農地の集約などに供すると良いのではと思う。</p> <p>時間はかかると思うが、50年単位で考えないと一関市自体が限界集落になるのではないか。</p>	<p>提案いただいたような計画の具体的な内容については、基本構想の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」の策定を進める中で、検討してまいります。</p>